令和５年度　目黒区立障害福祉施設
指定管理者運営評価結果について

令和６年７月

健康福祉部障害施策推進課

目　　次

１　目黒区心身障害者センター　・・・

１　目黒区心身障害者センター指定管理者運営評価結果について

目黒区心身障害者センター指定管理者の令和５年度運営評価結果を報告する。

１　施　設　名

目黒区心身障害者センター（目黒区八雲一丁目１番８号）

２　指定管理者

社会福祉法人　目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目１９番１５号）
理事長　　鈴木　勝

３　指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間　　平成３１年４月１日から令和１１年３月３１日まで（１０年間）
評価対象期間　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

４　運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

５　事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要)」のとおり

６　施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移　　（単位：円）

項　　目	３年度	４年度	５年度	備考
歳　　入	0	0	0	令和元年度利用料金制導入
歳　　出	276,851,299	299,217,837	322,066,631	指定管理料
	11,755,944	12,315,775	10,797,827	本部補助金

７　総合評価基準

評価結果	説　明
100 点～80 点	十分水準を超えている
79 点～70 点	必要な水準を超えている
69 点～60 点	必要な水準に達している
59 点～50 点	水準に達していない
49 点以下	水準をかなり下回っている

８　指定管理者の自己評価結果（100 点満点換算点）

（１）　生活介護

自己評価	６４点　：必要な水準に達している

（２）短期入所

自己評価	６３点　：必要な水準に達している

（３）特定相談支援

自己評価	６２点　：必要な水準に達している

（４）地域活動支援センター（機能訓練、デイサービス、入浴）

自己評価	６３点　：必要な水準に達している

（５）身体障害者福祉センターB 型（配食・その他）

自己評価	６３点　：必要な水準に達している

９　総合（評価委員会）評価結果（100 点満点換算点）

（１）生活介護

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

（２）短期入所

総合評価	６１点　：必要な水準に達している

（３）特定相談支援

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

（４）地域活動支援センター（機能訓練、デイサービス、入浴）

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

（５）身体障害者福祉センターB 型（配食・その他）

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

１０　評価結果内訳及び所見

（１）生活介護

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	19
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	203
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○企業の方を講師として、感染症や食中毒に関する嘔吐物処理の実践を含めた研修が全職員に実施され、感染拡大防止への取り組みが積極的になされている。 ○利用者アンケートでは、「不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか」の質問に対して「はい」が 83%（令和４年度　61.5%)、また、総合的な満足度については全員が「大変満足」または「満足」と回答し、昨年度 69.2%よりも増加している。令和５年度は給食試食会や宿泊体験のプログラム等を再開した結果、施設と利用者家族との情報交換の場が増えているため、満足度が高まっていると考えられる。 【更なる向上を求める点について】 ○専門研修参加者は、伝達研修により他職員へも共有がされている。引き続き、職員のスキルアップに向けた取り組みを積極的に進めてもらいたい。 ○リスクマネジメントについて、災害や感染症に対して事業継続計画（ＢＣＰ）を策定しているところだが、今後は訓練の計画を作成し、実施が求められる。

（２）短期入所　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	19
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	―	―
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	184
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		61 点	

所　見	【評価できる点について】 ○施設での生活体験訓練及び緊急一時保護等の利用目的に応じた受け入れが行われ、１日あたり 2.2 人（定員２人）と年間を通じて安定的な利用実績に努めている。 ○職員間の情報共有を徹底し、業務引継を適切に行ったことが、利用者やご家族が安心して利用でき、利用率の向上にも繋がっていると考えられる。 【更なる向上を求める点について】 ○利用実績が高い一方で、利用者からは「利用希望者が多くなかなか利用できない」との声を聞いている。区内の他の短期入所事業所との間で利用者層の棲み分けができるよう区と相談しながら、利用者のニーズを聞き取る仕組みと体制を整えていってもらいたい。

（３）特定相談支援　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	19
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	―	―
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	187
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○令和５年度は自立支援協議会相談支援部会の会長として中心的な役割を果たし、区内の相談支援体制の強化や関係機関と連携を深め、必要な支援・サービスに繋げている。 ○区内民間相談支援事業所から、新規利用者の計画相談受入れが難しいとの相談があった場合の受け入れ（新規約 40 件）や、困難ケースの対応もなされている。 ○民間事業所の急な閉鎖時にも、担当事業所が見つからない利用者へ調整や対応がなされている。 【更なる向上を求める点について】 ○区立の相談支援事業所として、引き続き民間相談支援事業所では受入困難な利用者対応が求められた場合に、協力できるよう、相談体制の強化に努められたい。 ○利用者やその家族からの相談に、高いスキルを持って対応できる主任支援相談員の育成に努めていただきたい。

（４）地域活動支援センター（機能訓練、デイサービス、入浴）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	19
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	15
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	202
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○職員を対象にした感染症に関する研修が実施され、積極的に感染拡大防止への取り組みがなされている。 ○デイサービスコースの半日利用やコース跨ぎの希望など多様なニーズへの対応、また、医療的ケアを要する利用者への対応により、一日あたりの利用者数は 15.6 人から 17.6 人に上昇している。 【更なる向上を求める点について】 ○引き続き多様なニーズへ対応しつつ、安心・安全な環境で活動できるよう、創意工夫に努められたい。そして、利用者の不満や要望に対しては、十分に相談にのれる体制の構築をしていってもらいたい。 ○令和５年度末で既事業者が撤退となった施設入浴については、サービスの質を落とさずに継続して実施するとともに、区と連携のうえ将来的な事業のあり方について検討されたい。

（５）身体障害者福祉センターB 型（配食・その他）　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	20
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	―	―
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	―	―
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		275	170
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○配食サービスについては、安定したサービスが継続されており、利用者への見守り活動の役割も効果的になされている。 ○区民向けの失語症会話パートナーの養成講座は、コロナ禍においては部分開催となっていたが、令和５年度は基礎講座・実技講座・実習の全過程を実施し、7名が修了している。 【更なる向上を求める点について】 ○配食サービスについては、よりきめ細やかな事業の実施に向けて、区や委託業者と連携し調整食の提供等の検討を行ってほしい。 ○引き続き失語症会話パートナー養成講座修了者が活躍できる場の具体的な検討等、中途障害者の意思疎通支援の充実に努めてほしい。

別 紙

目黒区心身障害者センター事業報告書（概要）

１　施設の概要

施　設　名	目黒区心身障害者センター
所　在　地	目黒区八雲一丁目１番８号
施　設	障害福祉サービス事業を行う施設
事業内容（条例の規定）	相談、生活介護、短期入所、創作的活動の機会の提供及び社会との交流の促進等、食事サービス、入浴サービス、ボランティアの育成、心身障害者についての啓発、団体交流の場の提供、福祉機器の展示・情報提供、施設の利用等

２　指定管理者の概要

団　体　名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所　在　地	目黒区上目黒二丁目１９番１５号
代　表　者	理事長　鈴木　勝
指定期間	平成３１年４月１日から令和１１年３月３１日まで（１０年間）
受任業務	ア　目黒区心身障害者センター条例第３条に規定する事業に関する業務 イ　会議室等の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 ウ　施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 エ　施設の設備等の保全及び修繕に関する業務 オ　特定相談支援事業

３　管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（１）施設利用の状況（生活介護事業、短期入所事業、地域生活支援事業等、各年度４月１日現在）

項　目	３年度	４年度	５年度
生活介護(定員 21 人)	20 人	14 人	13 人
利用率	60.2%	60.6%	55.3%
短期入所(定員 2 人)	延利用日数 666 日	延利用日数 687 日	延利用日数 781 日
基本相談	1,131 件	1,280 件	914 件
計画相談	2,544 件	3,449 件	4,296 件
障害者活動訓練事業	延 3,596 人	延 3,753 人	延 4,229 人
入浴サービス	延 2,245 人	延 2,360 人	延 2,530 人

（２）事業の実施状況

項　目		３年度	４年度	５年度
あいアイロ講座「ことばの集い」	回　数	48 回	49 回	45 回
	参加者数	延 251 人	延 333 人	延 272 人
失語症会話パートナー養成講座	回　数	基礎講座　2 回（支援者・ご家族向け）	実技講座・実習 計 22 回	基礎/実技講座・実習 計 20 回
	参加者数	17 人	9 人	12 人
会議室等利用状況		247 件（28.4%）	465 件（30.6%）	449 件（31.8%）

４　管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項　目	５年度	備考
収入額①	392,149,610	委託料・給付費・自己負担金等
支出額②	378,410,771	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	13,738,839	

以　上

２　目黒区立かみよん工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立かみよん工房指定管理者の令和５年度運営評価結果を報告する。

１　施　設　名

目黒区立かみよん工房（目黒区上目黒四丁目１番２６号）

２　指定管理者

社会福祉法人　目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目１９番１５号）

理事長　　鈴木　勝

３　指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間　　平成３１年４月１日から令和１１年３月３１日まで（１０年間）

評価対象期間　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

４　運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

５　事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要)」のとおり

６　施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移　　（単位：円）

項　　目	３年度	４年度	５年度	備考
歳　　入	0	8,000	0	令和元年度利用料金制導入
歳　　出	21,793,724	29,585,593	30,690,000	指定管理料
	3,309,252	3,559,029	3,326,012	本部補助金

７　総合評価基準

評価結果	説　明
100 点～80 点	十分水準を超えている
79 点～70 点	必要な水準を超えている
69 点～60 点	必要な水準に達している
59 点～50 点	水準に達していない
49 点以下	水準をかなり下回っている

８　指定管理者の自己評価結果（100 点満点換算点）

自己評価	６３点　：必要な水準に達している

９　総合（評価委員会）評価結果（100 点満点換算点）

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

１０　評価結果内訳及び所見

就労継続支援Ｂ型

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	19
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	203
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○高齢化や障害の重度化により一時居所不明となった利用者へ、本人や家族との了解のもとで、位置情報共有アプリの導入や緊急時の連絡体制の整備等、送迎の確実な通所降所への対応が速やかになされた。 ○コロナ禍で３年間代替行事を実施していた工房祭や宿泊行事が再開されている。工房祭の「かみよんしごとフェス 2023」では、利用者が講師となって普段の作業を地域の方にも体験してもらう等の交流がなされている。 ○原材料費の高騰が続く中、主力の自主生産品であるパンの値上げを最小限にとどめ、就労支援事業の収入、純利益とも昨年度より増加し、利用者の作業意欲が向上するよう、販路や作業の種類の拡大がなされている。 【更なる向上を求める点について】 ○利用者の高齢化・重度化による身体能力、作業能力の低下への対応等、生活介護的支援が増えている難しさがある一方で、利用者が主体的に取り組める作業ができるよう、今後も創意工夫をしていただきたい。

別 紙

目黒区立かみよん工房施設事業報告書（概要）

１　施設の概要

施　設　名	目黒区立かみよん工房
所　在　地	目黒区上目黒四丁目１番２６号
施　設	障害福祉サービス事業を行う施設
事業内容（条例の規定）	就労継続支援Ｂ型

２　指定管理者の概要

団　体　名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所　在　地	目黒区上目黒二丁目１９番１５号
代　表　者	理事長　　鈴木　勝
指定期間	平成３１年４月１日から令和１１年３月３１日まで（１０年間）
受任業務	ア　目黒区立福祉工房条例第３条に定める就労継続支援Ｂ型事業に関する業務 イ　施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ　施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

３　管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（１）施設利用の状況（各年度４月１日現在）

項　目	３年度	４年度	５年度
利用者数（定員 40 人）	35 人	35 人	33 人
利用率	74.8%	73.0%	70.5%

（２）事業の実施状況（作業工賃総額、受託状況等）

（単位：円）

項　目		３年度	４年度	５年度
作業工賃支給状況	就労支援事業収入	14,780,085	14,980,221	15,545,354
	工賃支払額	9,913,249	9,398,891	9,704,302
	月平均支払額（１人）	22,530	24,224	28,677
〈食品部販売先〉定期 16 ヶ所　〈受託作業〉企業部 5 社、開発部 2 社				

４　管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項　目	５年度	備考
収入額①	87,631,424	委託料・給付費・自己負担金等
支出額②	85,657,479	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	1,973,945	

以　上

このページは空白です

３　目黒区立大橋えのき園指定管理者運営評価結果について

目黒区立大橋えのき園指定管理者の令和５年度運営評価結果を報告する。

１　施　設　名

目黒区立大橋えのき園（目黒区大橋二丁目１９番３８号）

２　指定管理者

社会福祉法人　目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目１９番１５号）

理事長　　鈴木　勝

３　指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間　　平成３１年４月１日から令和１１年３月３１日まで（１０年間）

評価対象期間　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

４　運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

５　事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要)」のとおり

６　施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移　　（単位：円）

項　　目	３年度	４年度	５年度	備考
歳　　入	0	0	0	令和元年度利用料金制導入
歳　　出	51,547,067	70,390,537	62,906,000	指定管理料
	6,028,392	6,810,803	5,539,449	本部補助金

７　総合評価基準

評価結果	説　明
100 点～80 点	十分水準を超えている
79 点～70 点	必要な水準を超えている
69 点～60 点	必要な水準に達している
59 点～50 点	水準に達していない
49 点以下	水準をかなり下回っている

８　指定管理者の自己評価結果（100 点満点換算点）

（１）生活介護

自己評価	６２点　：必要な水準に達している

（２）日中一時支援

自己評価	６２点　：必要な水準に達している

９　総合（評価委員会）評価結果（100 点満点換算点）

（１）生活介護

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

（２）　日中一時支援

総合評価	６１点　：必要な水準に達している

１０　評価結果内訳及び所見

（１）生活介護

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	200
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○利用者数（契約者数）の減少への取り組みとして、積極的に施設見学者を受け入れているほか、週１回のホームページ更新を行い情報発信に努めている。 ○令和５年度は、利用者及び家族の高齢化等の理由により６名の利用者が他施設へ転所している。年度途中の新規利用者増が見込めない中、職員の配置等を工夫し取得可能な介護給付費加算を見直すことで、利用料金等の収入額の下降を最小限とするよう努めている。 ○自主生産品が高い評価を得ており、開発した新製品（チキンカレー）も好評である。生活介護事業所ではあるが就労的な活動にも取り組んでいる。 【更なる向上を求める点について】 ○積極的に施設見学者を受け入れるとともに、利用者の満足度の高いプログラムや自主製品の魅力を発信し、施設利用者の獲得に努めてもらいたい。 ○必要な施設設備の修繕等を計画的に進めていってもらいたい。

（２）日中一時支援　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	―	―
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	184
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		61 点	

所　見	【評価できる点について】 ○芸術活動に力を入れている施設の特徴を生かしつつも、生活介護事業とは異なった落ち着いた雰囲気の中で、個々の利用者が好きな活動ができるよう工夫がされている。 【更なる向上を求める点について】 ○日中活動終了後の居場所の提供という事業の性質上、利用者数が施設の立地に左右される面はあるが、施設の魅力を発信しつつ、引き続き区と連携して課題の洗い出しや改善策の検討等を行ってほしい。

別　紙

目黒区立大橋えのき園施設事業報告書（概要）

１　施設の概要

施　　設　　名	目黒区立大橋えのき園
所　　在　　地	目黒区大橋二丁目１９番３８号
施　　設	障害福祉サービス事業を行う施設
事　業　内　容 （条例の規定）	生活介護 日中一時支援

２　指定管理者の概要

団　　体　　名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所　　在　　地	目黒区上目黒二丁目１９番１５号
代　　表　　者	理事長　　鈴木　勝
指　定　期　間	平成３１年４月１日から令和１１年３月３１日まで（１０年間）
受　任　業　務	ア　目黒区立福祉工房条例第３条に定める生活介護事業及び日中一時支援事業に関する業務 イ　施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ　施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

３　管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（１）施設利用の状況（各年度４月１日現在）

項　目	３年度	４年度	５年度
生活介護（定員 57 人）	45 人	42 人	41 人
利用率	57.3%	56.1%	56.2%
日中一時支援（定員 10 人）	１人	１人（7 月から 2 人）	３人
利用率	5.5%	10.0%	16.2%

（２）事業の実施状況（作業活動、課題別活動、行事等）

項　目	３年度	４年度	５年度
作業活動	ピクルス・ミートソース・カレー作り、紙漉き、ガラス工芸、美術、書道、音楽・身体表現等		
課題別活動	散歩、バスハイク、体験（コンビニで買物体験）、カルチャー（園芸等）、室内運動、作業療法士によるレクリエーション		
行事等	11 回	13 回	17 回

４　管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）　（単位：円）

項　目	５年度	備考
収入額①	168,172,957	委託料・給付費・自己負担金等
支出額②	153,141,827	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	15,031,130	

以　　上

４　目黒区立下目黒福祉工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立下目黒福祉工房指定管理者の令和５年度運営評価結果を報告する。

１　施　設　名

目黒区立下目黒福祉工房（目黒区下目黒三丁目１０番２号）

２　指定管理者

社会福祉法人　目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目１９番１５号）

理事長　鈴木　勝

３　指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間　　令和５年４月１日から令和１５年３月３１日まで（１０年間）

評価対象期間　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

４　運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

５　事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

６　施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移　　（単位：円）

項　　目	３年度	４年度	５年度	備考
歳　　入	0	0	0	令和元年度利用料金制導入
歳　　出	64,299,209	72,678,017	93,837,500	指定管理料
	5,125,869	5,504,972	5,258,378	本部補助金

７　総合評価基準

評価結果	説明
100 点～80 点	十分水準を超えている
79 点～70 点	必要な水準を超えている
69 点～60 点	必要な水準に達している
59 点～50 点	水準に達していない
49 点以下	水準をかなり下回っている

８　指定管理者の自己評価結果（100 点満点換算点）

（１）就労継続支援Ｂ型

自己評価	６２点　：必要な水準に達している

（２）日中一時支援

自己評価	６１点　：必要な水準に達している

９　総合（評価委員会）評価結果（100 点満点換算点）

（１）就労継続支援Ｂ型

総合評価	６３点　：必要な水準に達している

（２）日中一時支援

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

１０　評価結果内訳及び所見

（１）就労継続支援Ｂ型

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	21
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	19
合計		325	205
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		63 点	

所　見	【評価できる点について】 ○施設利用者の高齢化・重度化により、革班では新たな刺繍作業に取り組み、新ブランドとして「RE＊BORN」（名称：リボーン）を利用者の意見を取り入れて立ち上げた。アート作品としての評価が高く、販路先の拡大に繋がっている。 ○利用者一人ひとりの特性に配慮した活動支援を実施したことで、高い通所率を達成している。 ○宿泊行事は、コロナ禍以前とは実施方法を一部見直し、２班に分け、開催日を別日に実施するなど、利用者の安全に配慮されている。 【更なる向上を求める点について】 ○各作業班の課題を検討し、利用者の希望や障害特性等に配慮しながらも、自主生産品の品質の維持や工賃向上に努めてほしい。

（２）日中一時支援　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	―	―
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	18
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	187
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○令和５年度から区内３か所目の施設として事業開始し、４月からは利用者３名、６月からは利用者１名の計４名が利用されている。活動室のレイアウトを工夫して、利用者のパーソナルスペースを確保しつつ、利用者に適した活動への支援を行うことで、穏やかに安定して過ごせるように努めている。 【更なる向上を求める点について】 ○日中に下目黒福祉工房以外の施設を利用する利用者の受け入れにあたっては、他施設における日中の活動状況に関する情報が不足しやすいため、施設間の情報共有を図り、よりよい支援に繋げていただきたい。

別 紙

目黒区立下目黒福祉工房施設事業報告書（概要）

1　施設の概要

施　設　名	目黒区立下目黒福祉工房
所　在　地	目黒区下目黒三丁目１０番２号
施　設	障害福祉サービス事業を行う施設
事業内容 （条例の規定）	就労継続支援Ｂ型 日中一時支援

2　指定管理者の概要

団　体　名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所　在　地	目黒区上目黒二丁目１９番１５号
代　表　者	理事長　　鈴木　勝
指定期間	令和５年４月１日から令和１５年３月３１日まで（１０年間）
受任業務	ア　目黒区立福祉工房条例第３条に定める就労継続支援Ｂ型事業に関する業務及び日中一時支援事業に関する業務 イ　施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ　施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3　管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（１）施設利用の状況（各年度４月１日現在）

項　目	３年度	４年度	５年度
就労継続支援Ｂ型（定員 40 人）	34 人	36 人	37 人
利用率	77.4%	81.7%	85.5%
日中一時支援（定員 10 人）			3 人
利用率			25.9%

※日中一時支援は令和５年度から実施。

（２）事業の実施状況（作業工賃総額、受託状況等）

（単位：円）

項　目		３年度	４年度	５年度
作業工賃支給状況	就労支援事業収入	6,436,841	6,694,874	6,993,626
	工賃支払額	4,509,066	4,437,928	4,800,780
	月平均支払額（1 人）	11,052	10,297	11,698

4　管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項　目	５年度	備考
収入額①	163,636,971	委託料・給付費・自己負担金等
支出額②	147,816,562	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	15,820,409	

以　上

５　目黒区東が丘障害福祉施設指定管理者運営評価結果について

目黒区東が丘障害福祉施設指定管理者の令和５年度運営評価結果を報告する。

１　施　設　名

目黒区東が丘障害福祉施設（目黒区東が丘一丁目２１番１５号）

２　指定管理者

社会福祉法人　東京援護協会（台東区東上野三丁目１８番１１号）
理事長　中村　明彦

３　指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間　　令和４年４月１日から令和１４年３月３１日まで（１０年間）
評価対象期間　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

４　運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

５　事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

６　施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移　　（単位：円）

項　　目	３年度	４年度	５年度	備考
歳　　入	133,426,494	124,427,162	130,982,469	
歳　　出	233,489,313	230,022,271	237,045,037	指定管理料 処遇改善加算金

７　総合評価基準

評価結果	説明
100 点～80 点	十分水準を超えている
79 点～70 点	必要な水準を超えている
69 点～60 点	必要な水準に達している
59 点～50 点	水準に達していない
49 点以下	水準をかなり下回っている

８　指定管理者の自己評価結果（100 点満点換算点）

（１）生活介護

自己評価	７１点　：必要な水準を超えている

（２）福祉ホーム

自己評価	６４点　：必要な水準に達している

（３）短期入所

自己評価	６４点　：必要な水準に達している

９　総合（評価委員会）評価結果（100 点満点換算点）

（１）生活介護

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

（２）福祉ホーム

総合評価	６１点　：必要な水準に達している

（３）短期入所

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

１０　評価結果内訳及び所見

（１）生活介護

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	15
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	200
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○２名の利用者を新規にショートステイに繋げ、施設に併設されている構造上のメリットを生かした支援がなされている。 ○毎年、防災訓練に積極的に取り組んでいるほか、令和５年度は職員２１名が普通救命救急講習を受け、緊急時の対応に備えた救命技能の習得がされている。 ○各月ごとに家族連絡会を開催するほか、作業グループごとの家族懇談会も実施されている。令和５年度は開催回数を増やすとともに、作業グループの職員全員が出席して、家族と交流を深め、情報共有や意見交換が行われている。 【更なる向上を求める点について】 ○高齢化・重度化する利用者やケアが必要な家族への対応が年々増えていることから、職員の資質向上を図り、家族の状況把握や関係機関と連携を深めて必要な支援・サービスに繋げてほしい。 ○質の高い支援の実施に向け、必要な人材の確保に努めていただきたい。

（２）福祉ホーム　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	19
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	―	―
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	184
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		61 点	

所　見	【評価できる点について】 ○複合施設としての事業継続計画（BCP）マニュアルが完成したことに伴い、単独で作成していた福祉ホームの BCP マニュアルの見直しがされている。 ○令和５年度に２名が入居したほか、令和６年４月からの１名の受入れ準備にあたっては、家族からの聞き取りのほか、日中活動の場に訪問して状況を確認するなど、受入れ体制を整えるよう努めている。 【更なる向上を求める点について】 ○人材確保と職員定着に向けて、業務内容の見直しなど業務改善に引き続き努めていただきたい。 ○人材確保が難しい状況が継続しているが、あらゆる媒体による情報発信を行い、引き続き人材確保に努めていただきたい。

（３）短期入所　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	19
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	―	―
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	187
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○設備に経年劣化が見られ、厨房空調設備や浴室リフト改修工事が行われたが、同時期に実施することで短期入所事業への影響が最小限に抑えられている。 ○新規利用者の受入れには、家族からの聞き取りのほかに支援学校や通所先施設へも訪問し、施設での生活が快適に過ごせる様に丁寧にアセスメントを行っている。２回目以降の継続的な利用の際には、前回の支援の情報を職員へ共有し、より良い支援に結びつくよう努めている。 【更なる向上を求める点について】 ○業務上、職員のローテーションがあるため、利用者についての情報は職員間で確実に伝達できるよう努められたい。 ○職員の欠員状態の解消に向けた対策を講じる必要がある。

別 紙

目黒区東が丘障害福祉施設事業報告書（概要）

１　施設の概要

施　設　名	目黒区東が丘障害福祉施設
所　在　地	目黒区東が丘一丁目２１番１５号
施　設	障害福祉サービス事業を行う事業所
事業内容（条例の規定）	生活介護、福祉ホーム、短期入所

２　指定管理者の概要

団　体　名	社会福祉法人東京援護協会
所　在　地	東京都台東区東上野三丁目１８番１１号
代　表　者	理事長　　中村　明彦
指定期間	令和４年４月１日から令和１４年３月３１日まで（１０年間）
受任業務	ア　目黒区東が丘障害福祉施設条例第２条に定める生活介護事業、短期入所事業、福祉ホームの運営に関する業務 イ　施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ　施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

３　管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（１）施設利用の状況（各年度４月１日現在）

項　目	３年度	４年度	５年度
生活介護（定員 40 人）	43 人	38 人	36 人
利用率	81.4%	81.2%	82.6%
福祉ホーム（定員７人）	７人	４人	６人
短期入所　（定員２人）	延利用日数 453 日	延利用日数 469 日	延利用日数 418 日

（２）事業の実施状況

生活介護	創作活動、作業活動、クラブ活動、外出活動、給食提供、送迎サービス等
福祉ホーム	身体介護（食事・排泄・入浴・更衣・移動等）、相談業務、金銭管理等
短期入所	身体介護（食事・排泄・入浴・更衣・移動等）、金銭管理等

４　管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）　（単位：円）

項　目	５年度	備考
収入額①	237,045,037	委託料・処遇改善加算金
支出額②	226,223,178	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	10,821,859	

以　上

このページは空白です

６　目黒区立目黒本町福祉工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立目黒本町福祉工房指定管理者の令和５年度運営評価結果を報告する。

１　施　設　名

目黒区立目黒本町福祉工房（目黒区目黒本町一丁目１４番２４号）

２　指定管理者

社会福祉法人　いたるセンター（杉並区天沼一丁目１５番１８号）

理事長　　谷山　勝崇

３　指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間　　平成２９年４月１日から令和９年３月３１日まで（１０年間）

評価対象期間　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

４　運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

５　事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

６　施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移　　（単位：円）

項　　目	３年度	４年度	５年度	備考
歳　　入	173,946,901	174,686,439	179,976,014	
歳　　出	284,738,575	289,294,133	287,272,707	指定管理料 処遇改善加算金

７　総合評価基準

評価結果	説　明
100 点～80 点	十分水準を超えている
79 点～70 点	必要な水準を超えている
69 点～60 点	必要な水準に達している
59 点～50 点	水準に達していない
49 点以下	水準をかなり下回っている

８　指定管理者の自己評価結果（100 点満点換算点）

（１）生活介護

自己評価	６３点　：必要な水準に達している

（２）就労継続支援Ｂ型

自己評価	６２点　：必要な水準に達している

（３）日中一時支援

自己評価	６２点　：必要な水準に達している

（４）福祉の店さんまるしぇ

自己評価	６６点　：必要な水準に達している

９　総合（評価委員会）評価結果（100 点満点換算点）

（１）生活介護

総合評価	６１点　：必要な水準に達している

（２）就労継続支援Ｂ型

総合評価	６１点　：必要な水準に達している

（３）日中一時支援

総合評価	６１点　：必要な水準に達している

（４）福祉の店さんまるしぇ

総合評価	６５点　：必要な水準に達している

１０　評価結果内訳及び所見

（１）生活介護

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	199
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		61 点	

所　見	【評価できる点について】 ○自主製品では、利用者の意見を聞きながら作成したレジン製品の新商品（アンブレラマーカー、髪留め等)が好評であることや、利用者と職員双方の意見や試作を繰り返した「バスソルト」は、外部販売まで達成でき、社会参加にも繋がっている。さらに、美術出展作品では、数名が入選しており、様々な活動を通じてプログラムの満足度が高まるような取組がなされている。 ○福祉専門学校の先生を講師にして、身体介助等の支援スキルの向上を図ることで、利用者にとってより安心できる支援体制の構築がなされている。 【更なる向上を求める点について】 ○職員研修等を充実することで個々のスキルアップを図り、利用者の支援に繋げてほしい。 ○職員の負担を軽減した書類作成の見直し等の事務改善の取組がなされている。引き続き取組んでいただきたい。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた宿泊行事について、再開等を検討し、安全や感染に配慮し、利用者の満足度を高める活動を行ってほしい。

	○利用者対応や職員の異動について、家族への連絡・説明を丁寧に行うことで、よりよい信頼関係の構築に努めてほしい。 ○自主製品での利用者への新たな支援方法、支援技術の導入に向けた取り組みを引き続き実施していただきたい。

（２）就労継続支援Ｂ型

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	199
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		61 点	

所　見	【評価できる点について】 ○令和５年度からの新たな活動として、着物の糸ほどき作業（解体作業）、自主生産品の陶器（ミニだるま）の製造販売等を開始し、利用者が意欲をもって携われる作業の開拓に努めている。また、近隣の会社へのカレー弁当販売では、地域との関わりを持って活動している。 【更なる向上を求める点について】 ○今後も高齢化・重度化が進む工房利用者の特性に合わせて既存の作業内容を見直し、工賃向上の取組みをしてほしい。 ○利用者や家族へは、工賃計算の仕組みが理解できるよう説明方法の工夫に努めてほしい。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により中止・縮小していた行事（宿泊や外出事業等）について、課題を整理し、今後の事業の進め方について十分に検討してもらい、利用者の満足度を高める活動を行ってほしい。

（３）日中一時支援　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	―	―
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	184
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		61 点	

所　見	【評価できる点について】 ○利用者へは「活動は楽しいですか。」の問いに 87.5%が「楽しい」と答えており、昨年度 66.7%よりも高い評価が得られている。 ○新たな活動として、屋上菜園を使った野菜作りや草花の栽培を行うなど、活動の充実を図り利用者満足度の向上に努めている。 【更なる向上を求める点について】 ○障害特性が違う生活介護と就労継続支援B型の利用や他施設からの受入れ等の課題がある中で、区及び他施設と連携して対策を検討し、利用者の安全、安心の確保を最優先によりよい支援を続けていただきたい。

（4）福祉の店さんまるしぇ

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営に必要な人員体制が取られているか	25	15
	2　人材の育成、資質の向上に取り組んでいるか	25	15
	3　危機管理・安全対策は適切に行われているか	25	15
	4　情報管理の取り組みは適切に行われているか	25	15
	5　地域との連携は適切に行われているか	25	20
	6　施設設備の管理保全や環境保護の取り組みは適切に行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　設置目的達成に向けて取り組んでいるか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　施設との連携は適切に行われているか	25	15
	10　来店者の満足度向上へ向けた取り組みを行っているか	25	15
	11　店舗・事業の周知は適切に行われているか	25	19
	12　利用者工賃向上に向けた取り組みを行っているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
	14　喫茶の収入は効果的に活用されているか	25	23
合計		350	227
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		65 点	

所　見	【評価できる点について】 ○小学校社会科授業の一環として、児童からの取材や発表会の見学にも参加。また、商店会の集まりにも積極的に参加され、地域との関係強化に努めている。 ○来店された方に福祉の店としての役割を分かりやすく知らせるため、店外の表示にも工夫がなされている。また、各施設の自主製品の施設フェアを再開し、ＳＮＳ（インスタグラム）を通じて積極的に発信がなされている。 ○季節ごとに新メニューを提供し、収入の一部をエスプレッソマシーンや水出しコーヒー用ボトル等の購入にあて、メニューの幅が広がっている。 【更なる向上を求める点について】 ○これからも販売向上に向けて取り組む一方、各施設の食品・菓子や雑貨等の自主生産品を購入されたお客様の声を、各施設へ伝えることにも努められたい。 ○引き続き新商品の開発に向けて前向きに取り組んでいただきたい。

別　紙

目黒区立目黒本町福祉工房事業報告書（概要）

１　施設の概要

施　　設　　名	目黒区立目黒本町福祉工房
所　　在　　地	目黒区目黒本町一丁目１４番２４号
施　　設	障害福祉サービス事業を行う事業所
事　業　内　容 (条例の規定)	生活介護、就労継続支援Ｂ型、日中一時支援、福祉の店　さんまるしぇ

２　指定管理者の概要

団　　体　　名	社会福祉法人　いたるセンター
所　　在　　地	杉並区天沼一丁目１５番１８号
代　　表　　者	理事長　　谷山　勝崇
指　定　期　間	平成２９年４月１日から令和９年３月３１日まで（１０年間）
受　任　業　務	ア　目黒区立福祉工房条例第３条に定める生活介護事業、就労継続支援Ｂ型事業、日中一時支援事業に関する業務 イ　施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ　施設の設備等の保全及び修繕に関する業務 エ　福祉の店さんまるしぇの運営に関する業務

３　管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（１）施設利用の状況（各年度４月１日現在）

項　目	３年度	４年度	５年度
生活介護（定員 30 人）	32 人	30 人	29 人
利用率	81.8%	87.0%	87.9%
就労継続支援Ｂ型　定員50人（本体 40 人、分室 10 人）	48 人(うち分室８人)	47 人(うち分室７人)	44 人(うち分室６人)
利用率	82.0%	82.6%	79.1%
日中一時支援（定員 10 人）	5 人	9 人	8 人
利用率	41.5%	81.2%	71.5%
福祉の店さんまるしぇ	月平均購買客数 1,699 人	月平均購買客数 1,621 人	月平均購買客数 1,727 人
	売上　14,085,925 円	売上　13,673,510 円	売上　15,595,945 円

（２）事業の実施状況

（単位：円）

項　目		３年度	４年度	５年度
生活介護	活動内容	創作活動、作業活動、クラブ活動、外出活動、給食提供、送迎サービス等		
就労継続支援Ｂ型 作業工賃支給状況	就労支援事業収入	18,884,673	8,959,947	10,407,359
	工賃支払額	8,518,736	6,103,210	6,529,051
	月平均支払額(1人)	15,717	11,387	13,774
福祉の店さんまるしぇ	自主製品の販売等	区内１５施設の製品販売（パン、焼き菓子、弁当、雑貨等）、喫茶		

４　管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項　目	5 年度	備考
収入額①	287,112,734	委託料・処遇改善加算金
支出額②	285,325,125	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	1,787,609	

以　　上

7　目黒区立のぞみ寮指定管理者運営評価結果について

目黒区立のぞみ寮指定管理者の令和５年度運営評価結果を報告する。

１　施　設　名

目黒区立のぞみ寮（目黒区目黒三丁目４番４号）

２　指定管理者

社会福祉法人　いたるセンター（杉並区天沼一丁目１５番１８号）

理事長　　谷山　勝崇

３　指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間　　平成３１年４月１日から令和６年３月３１日まで（５年間）

評価対象期間　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

４　運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

５　事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要)」のとおり

６　施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移　　（単位：円）

項　　目	３年度	４年度	５年度	備考
歳　　入	18,417,128	17,220,013	17,154,203	
歳　　出	22,365,426	23,067,690	23,211,775	指定管理料 処遇改善加算金

７　総合評価基準

評価結果	説　明
100 点～80 点	十分水準を超えている
79 点～70 点	必要な水準を超えている
69 点～60 点	必要な水準に達している
59 点～50 点	水準に達していない
49 点以下	水準をかなり下回っている

８　指定管理者の自己評価結果（100 点満点換算点）

（１）共同生活援助（グループホーム）

自己評価	６７点　：必要な水準に達している

（２）短期入所

自己評価	６６点　：必要な水準に達している

９　総合（評価委員会）評価結果（100 点満点換算点）

（１）共同生活援助（グループホーム）

総合評価	６２点　：必要な水準に達している

（２）短期入所

総合評価	６１点　：必要な水準に達している

１０　評価結果内訳及び所見

（１）共同生活援助（グループホーム）　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	19
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	18
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	―	―
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	187
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		62 点	

所　見	【評価できる点について】 ○利用者の高齢化が進んでいる中で、令和４年度以上に職員の通院同行（月平均６回超）がされており、利用者の健康管理に取り組んでいる。また、事業所や会社を休む利用者への日中での支援体制にも努めている。 ○利用者の生活費を寮へ直接届けていた家族がいたが、高齢で外出が難しくなったことから、送金手続きの変更の支援がなされ、利便性が高められた。 【更なる向上を求める点について】 ○支援ニーズの高くなった入所者に対する必要かつ適切な支援について検討し、その結果を日々の実践に取り入れてもらいたい。 ○利用者や家族の状況に応じた支援を行い、区及び関係機関と連携し、よりよい対策を講じていってほしい。

（２）短期入所　　（「―」は評価項目なし）

評　価　項　目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1　管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2　施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3　経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4　リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	19
	5　職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6　施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7　施設設置目的が達成できているか	25	15
	8　事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9　個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10　利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11　作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	―	―
	12　利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13　管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	184
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		61 点	

所　見	【評価できる点について】 ○人員確保が難しい昨今、職員数の安定を図り必要人員を整えたうえで、看護師資格保有者も配置し、健康管理に努めている。また、新規登録３名の方と契約がなされ、利用の向上に努めている。 【更なる向上を求める点について】 ○新規３名の利用者増加の一方、他の短期入所事業所との間で利用者層の棲み分けができるよう区と相談しながら、有効な活用を図ってほしい。 ○職員の定着に向けた労働環境の整備に引き続き努めていただきたい。

別　紙

目黒区立のぞみ寮施設事業報告書（概要）

１　施設の概要

施　　設　　名	目黒区立のぞみ寮
所　　在　　地	目黒区目黒三丁目４番４号
施　　設	障害福祉サービス事業を行う施設
事　業　内　容 （条例の規定）	共同生活援助（グループホーム） 短期入所

２　指定管理者の概要

団　　体　　名	社会福祉法人　いたるセンター
所　　在　　地	杉並区天沼一丁目１５番１８号
代　　表　　者	理事長　　谷山　勝崇
指　定　期　間	平成３１年４月１日から令和６年３月３１日まで（５年間）
受　任　業　務	ア　共同生活援助事業に関する業務 イ　短期入所事業に関する業務 ウ　施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 エ　施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

３　管理業務の実施状況（施設の利用状況）

項　目	３年度	４年度	５年度
共同生活援助（定員６人）	利用者数 ６人	利用者数 ６人	利用者数 ６人
短期入所　（定員１人）	延利用日数 158 日	延利用日数 44 日	延利用日数 116 日

４　管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項　目	５年度	備考
収入額①	23,554,308	委託料・処遇改善加算金
支出額②	20,666,276	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	2,888,032	

以　　上

（別 表）

健康福祉部指定管理者運営評価委員会

職	氏　名	備　考
委員長	岩崎　香	有識者
副委員長	保坂　春樹	健康福祉部長
委　員	長友　祐三	有識者
委　員	松島　達雄	有識者
委　員	大塚　浩司	健康福祉計画課長
委　員	橋川　久美子	福祉総合課長

以　　上